

# 夏★フェスタ 延岡市 4日、かわまち交流館

## 西郷隆夫さんが講話 子どもから大人

子どもから大人まで楽しめる「夏★フェスタ」が、8月4日午前10時から午後5時まで延岡市の大瀬大橋北詰めの「かわまち交流館」一帯で行われる。西郷隆盛のひ孫でのべおか観光大使の西郷隆夫さんの講演などがある。主催は元気延マママボロンボランティア連合(黒木敦子代表)。



西郷隆夫さん

午前10時30分から西郷隆夫さんが講話。黒木代表によると小学生でも分かるように西郷隆盛の話をする予定で、「楽しく歴史を学ぶことができると思います。ぜひ、聞いて

いただきたい」と参加を呼び掛けている。事前申し込みは不要。会場にはスライム、水遊び体験、ヨーヨー、くじ、ゲームコーナーなど

の子どもわくわくブースも設置。ミニステージではキッズダンス、フラ、ブラス演奏、大声選手権などが行われる。また、「ママズマルシェ」として雑貨やアクトセサリーなどの販売やフリーマーケット、ワークシヨップ、弁当やソフトクリームの販売などがある。

「大人も子どもも一日楽しめます。西郷隆夫さんの講話で学んだり、ワークシヨップを体験したりとたくさん思い出をつくらせてください」と黒木代表。午後5時終了予定。雨天決行だが、雨天や強風時は屋外のイベント内容が変更される場合もある。問い合わせは黒木代表(☎0990・52867・9607)。

### 延岡市は前月比53人減

7月1日現在 県内推計人口 延岡市は前月比53人減

県は25日、7月1日現在の県内推計人口を発表した。延岡市は前月比53人減った。県全体は519人減って108万503人(男50万8294人、女57万2209人)。

延岡市は男5万7153人、女6万3721人。転入者から転出者を差し引いた社会増が15人にとどまり、死亡者から出生者を差し引いた自然減が15人の自然減があった。県北7町村は五ヶ瀬町のみ5人増えたが、ほかは1~24人減った。

### 宮崎県の推計人口

(平成30年7月1日現在)

市町村	総数	前月との増減	世帯数	前月との増減
宮崎県	1,080,503	-519	468,195	-121
宮崎市	398,971	20	179,832	72
延岡市	120,874	-53	51,832	11
日向市	51,864	-36	22,435	-9
小浜町	44,657	-52	19,619	-20
日南町	60,535	13	25,185	24
串間市	17,784	-3	7,813	10
西郷市	29,594	-20	11,991	4
えびの市	18,481	-173	8,461	-159
市計	904,907	-391	397,837	-101
北諸郡	25,337	-17	10,164	-18
西諸郡	25,337	-17	10,164	-18
東諸郡	8,860	2	3,850	6
東諸郡	8,860	2	3,850	6
国綾町	18,892	-38	7,612	-10
計	7,099	-9	2,916	0
計	25,991	-47	10,528	-10
児湯郡	20,445	-22	8,653	-10
高千穂町	16,766	2	6,379	7
西米良町	1,043	-1	509	0
木城町	5,115	0	1,967	3
川南町	15,474	-15	6,100	7
川南町	10,196	2	3,998	0
計	69,039	-34	27,606	7
東臼杵郡	17,657	-24	6,860	-1
門高町	1,609	-3	682	-1
諸葉町	2,630	-1	1,116	2
美郷町	5,038	-6	2,234	-6
計	26,934	-34	10,892	-6
西臼杵郡	12,194	-16	4,570	-2
千ヶ瀬町	3,754	-10	1,483	-1
日影町	3,649	5	1,265	4
計	19,597	-21	7,318	1
町村計	175,758	-151	70,358	-20

(注) 調整推計人口は出生・死亡・転入および転出の県外分のみを推計要素としているので、市町村の積み上げ人口には一致しない。

2019.7.31

# 温暖化を食い止めるために

## 「31」二人一人が始めよう

### 延岡で勉強会

地球温暖化について本格的に学ぼうと、月1回の「地球温暖化勉強会」が27日から延岡市で始まった。初回は、延岡アースデーの創設者で同勉強会代表、延岡観光協会代表理事でもある谷平興二さん(72)＝同市行瀬町在住＝が講師を務め、これ以上の温暖化を食い止めるための活動を一人一人が始めることの重要性を話した。



谷平興二さん

谷平さんは30代から自「めた。アメリカの環境学で環境問題の勉強を始「者レスター・ブラウン氏

の著書「地球白書」をはじめ、環境問題に関するさまざまな本を読み込んでいる。勉強するだけでなく平成6年に延岡アースデーを開始、太陽光発電を自社にいち早く設置、電気自動車を購入するなど、温暖化の原因となる二酸化炭素の排出削減を実践している。

「子ども環境塾」が、初めて一般にも受講を呼び掛けて開いた。初回は45人が参加した。谷平さんはまず、「地球を救おうという、まるで自分が正義の味方のような考え方を改めなければいけない。私たちは水も空気も食べ物もすべて地球からいただいている。だから、母なる地球に恩返しをしよう。地球は人間が減じようとしていようと困らない。困るのは私たちが」と強調した。気温が35度を超える日が増え、気象庁が「猛暑日」という用語を定義したのは平成19年。今年はそのさらに「命に関わる猛暑」とい

という言葉まで出てきた。谷平さんは「レスター博士は『自然の包容力の限界点を越える前に私たちの社会を転換する必要がある』と一貫して警告してきたが、この夏、超えてしまったのではないかと」と危機感を示した。



延岡市で始まった地球温暖化勉強会

グリーンランドの水が解けると海面が7センチ、南極の水がすべて解けると同60センチ上がるという試算がある。その一方で飲み水は減る。何十億人も飲める水の源であるヒマラヤ水河も既に半分以上が解けており、2035年には消滅するといわれ

ている。20世紀は石油を巡って戦争が起こったが、21世紀の今、水戦争が勃発寸前。また、温暖化で食物連鎖の底辺にいる植物プランクトンが死ねば生態系が崩れる。沖縄など世界の海でサンゴが死滅しているのはそれが始まっている証拠。

「温暖化を食い止めるには、世界中が炭酸ガス排出を減らすことに精力を注がなければならぬ。自分一人が取り組んでも仕方ないと思うのではなく、地球上の76億人が一人一人、自分にでき

ることを始めることが重要」  
一人や家庭でできることは、風呂は続けて入る、朝シャンをやめる、車を電気自動車やハイブリッドカーに変える、車のアイドリングをしない、太陽光発電を設置する、冷暖房の温度調整、買い物でレジ袋をもらわないなど。学校や職場でできることは、使わない照明は消す、クールビズ実行など。地域でできることは「延岡アースデーに参加して、木を植えよう」と呼び掛けた。

27日午後7時からまちづくりセンターで。テーマは「大量消費との決別」。参加費は無料だが、全9回分の通信費として千円が必要。  
問い合わせ先は甲斐益雄さん(☎090・1345・7366)。

2018.7.21



回転すし店に入って  
みたらバルフが皿に  
載って回っていた—  
そんな奇抜なPR動画  
を、旭有機材（本社延  
岡市、中野賀津也社長）  
がYouTubeで発表  
した。同社は樹脂製ハ

ルフのバイオニア。施  
工業者向けに製品のメ  
ンテナンス方法を紹介  
する動画はこれまでも  
作っていたが、企業の  
PR動画は初めて。  
外国人女性2人が、  
すると「延岡産のAR  
型」が出される。日本  
人客が「次のサンプル  
をさび（わさび）無し  
で」と注文すると、店  
の主人が「うちのは初  
めからさびないよ」と  
目を浴びた。その様子  
も収録されている。  
また、社会のさまざま  
な場所で同社の樹脂  
製バルフが活躍してい  
ることを紹介する動画  
「バルフ島に行こう」

## 旭有機材 回転すしの皿に樹脂製バルフ YouTubeにPR動画

普通の回転すし店と間  
違って入店したという  
設定。女性たちが注文  
……………

旭有機材のPR動画の  
ワンシーン。制作は合  
同会社C 代表高山剛  
info @ gotakaya  
maphoto.com

粋に答える。さびない  
樹脂製バルフの良さを  
楽しくアピールしてい  
る。  
も公開している。  
URLは回転すし編  
が <https://youtu.be/4oagSC60o8k>  
バルフ編  
<https://youtu.be/xkk1ptGtG9I>

同社は先トイッで  
開かれた「アノマ」世  
界最大の化学・環境関  
係装置見本市)でも回  
転。風レセンに注

2015.7.21